ことぶき新報

第 321 号　2022 年 7 月 10 日発行
出雲市塩冶有原町 1-50
社会福祉法人ことぶき福祉会『ことぶき園』
発行責任者：原　久美
Tel　：（0853）31 - 9900
Fax：（0853）31 - 9901

Ｆさんと Ｔさんは、夕食が終わると毎日お互いに声をかけ合い、Ｆさんの部屋で寝るまでの時間を一緒に過ごされます。毎晩、楽しそうに話をする声や笑い声が聞こえてきます。気が合うことも多いようで、食事をされる時やお茶を飲まれる時にも一緒におられ、どちらかの姿が見えないと「相棒はどこ行った」と探しておられることもあります。

この二人は、昔からの知り合いというわけではなく、ことぶき園で初めて出会われました。お互いに困ったことがあると声をかけ、話を聞き合ったり、一緒に物を探されたりしておられます。また、Ｔさんの身体が動きにくい時には、Ｆさんが「お姉さんが手伝ってあげましょう」と着替えを手伝っておられることもあります。

施設を利用すると、職員が利用者を介助するというイメージを持たれることが一般的であると思います。もちろん、専門性を持った部分でのケアは職員が担いますが、ことぶき園では、お年寄りさんも職員も対等な関係であり、お世話をする側とされる側という関係ではありません。生活を共にする者同士お互いに困っていることがあると助け合う、お互いがお互いを尊重し合うという関係を大切にしています。そのような、自然な付き合いができてこそ、笑顔で過ごせる場所、居心地の良い場所であると思っています。

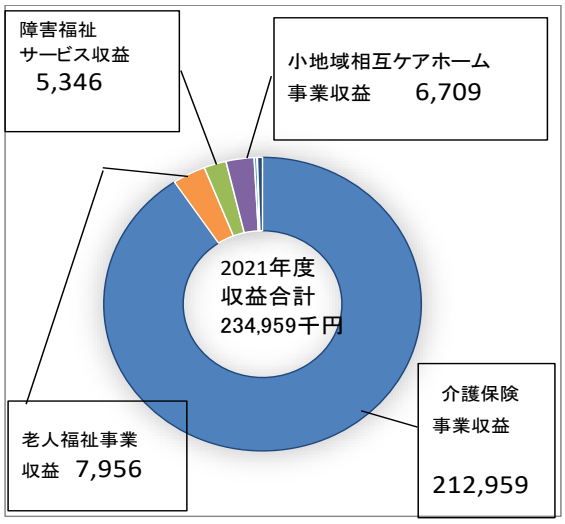
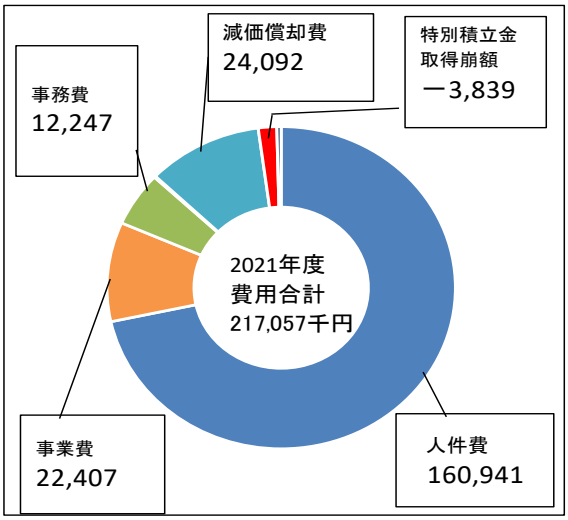
ことぶき福祉会のケア方針の一つに、『なじみの関係の中で不安感をなくす』とあります。なじみの関係の大切さや、家族も含めて大切な人が存在するという事の大切さを、お年寄りさん同士の関係から改めて実感することが出来ました。これからも、笑顔で暮らすことのできることぶき園であるように、日々過ごしていきたいと思います。

日々の様子

食事作りはお手の物

天気のいい日には散歩へ

畑に苗植え

今年の夏も猛暑となりそうですが、ことぶき園のお年寄りさんたちは毎日元気に過ごしておられます。出雲市でも、新型コロナウイルスの感染が拡大し、心配な部分もありますが、感染対策をきちんとしつつ、体調面に気をつけながらお年寄りさんたちに、楽しく充実した日々を過ごしてもらいたいと思っています。

ことぶき福祉会　2021年度会計報告　（単位千円）